

京 都 大 学

第 17 号



唐紅に水くくるとは 大谷 雅夫 (二)
 — 業平の和魂漢才 —

小式部内侍「大江山生野の道の」考 小山 順子 (二六)
 — 歌枕の機能、解釈、享受 —

幣と散りぬる 中村 健史 (三五)
 『玉葉』『風雅』にはないものの一考察

京都大学国文学会 研究発表要旨 (六一)

